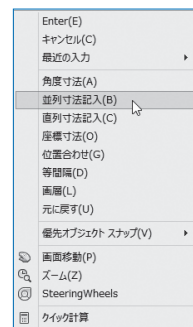


- ① ダイナミック入力をオンにします。
- ② (水平・垂直寸法記入)「オブジェクトを選択 または :」に対して、上側の線分にカーソルを移動します。
- ③ 「…線分を選択」に対して、線分をクリックしてから、寸法線の配置点をクリックします。垂直線分の場合も同様にして寸法記入できます。
- ④ (直径・半径寸法記入)「オブジェクトを選択 または :」に対して、円周上にカーソルを置きます。表示メッセージが直径関連でない場合は、ダイナミック入力などから [直径] オプションに切り替えます。
- ⑤ 「…円を選択」に対して、円をクリックしてから、寸法線の配置点をクリックします。
- ⑥ (平行寸法記入)「オブジェクトを選択 または :」に対して、距離を示す起点 2 点を順にクリックしてから、寸法線の配置点をクリックします。
- ⑦ (角度寸法記入)「オブジェクトを選択 または :」に対して、ダイナミック入力などから [角度寸法] オプションを選択します。
- ⑧ 「円弧、円、線分を選択 :」に対して、1 番目の線分をクリックします。
- ⑨ 「角度の 2 番目の… :」に対して、2 番目の線分をクリックします。
- ⑩ 寸法線の配置点をクリックします。
- ⑪ スマート寸法を終了するには、[Esc] キーまたは [Enter] を押します。



(ダイナミック入力によるオプション選択例)



(右クリックによるオプション選択例)

●スマート寸法の主なオプション

コマンド: dim
DIM オブジェクトを選択 または 1 本目の寸法補助線の起点を指定 または [角度寸法(A) 並列寸法記入(B) 直列寸法記入(C) 座標寸法(O) 位置合わせ(G) 等間隔(D) 画層(L) 元に戻す(U)]: (コマンドライン)

図形要素	カーソル近接時の動作	切り替え可能な寸法タイプ
オブジェクトを選択		寸法記入したい図形上にマウスを近づけると、図形要素に応じた寸法タイプで寸法線がプレビュー表示されます。
1本目の寸法補助線の起点		2点を選択すると、長さ寸法が記入されます。
[角度寸法(A)]	([角度寸法記入] コマンドと同じ)	3点間の角度または2つの線分間の角度を示す角度寸法を記入します。
[並列記入(B)]	([並列寸法記入] コマンドと同じ)	直前の寸法または選択した寸法の1本目の寸法補助線から、長さ寸法、角度寸法、または座標寸法を記入します。既定では、最後に記入した寸法が基準寸法として使用されます。
[直列記入(C)]	([直列寸法記入] コマンドと同じ)	選択した寸法の2本目の寸法補助線から、長さ寸法、角度寸法、または座標寸法を記入します。
[座標寸法(O)]	([座標寸法記入] コマンドと同じ)	座標寸法を記入します。
[位置合わせ(G)]		複数の平行な寸法や、同心の寸法、または同じデータムの寸法を、選択した基準寸法に位置合わせします。
	基準寸法:	寸法の位置合わせ基準として使用する寸法を指定します。
	位置合わせする寸法:	基準寸法に位置合わせする寸法を選択します。
[等間隔(D)]		長さ寸法または座標寸法のグループの間隔設定方法を指定します。
	[等間隔(E)]:	選択された3つ以上の寸法を等間隔に配置します。
	[オフセット(O)]:	すべての選択された寸法を、指定したオフセット距離で配置します。
[画層(L)]		指定した画層に新しい寸法を割り当て、現在画層に優先させます。現在画層を指定するには半角ピリオド(.)を入力します。
[元に戻す(U)]		最後の寸法操作を取り消して元に戻します。